

決算トピックス

アステリア株式会社 (東証一部:3853)

2020年8月12日

ウイズコロナ

IT業界には「追い風」要素

向かい風

不振業界における
直接的IT投資抑制
世界不況からの
連鎖的IT投資抑制

ウィズコロナ
(新しい日常)に向けた
IT投資の加速

追い風

「追い風」を受けける経営3条件

ウィズコロナへの適応

成長領域の見極めと集中

迅速な執行

ウィズコロナへの適応

企業そのものが適応した経営を行うこと

◆ 物理オフィスに依存しない働き方に変更

✓ **Noオフィス**:100%自宅やコワーキングで執務

✓ シアトル、香港、プレイノ(米テキサス州)

✓ **コストダウン**にも寄与

✓ **省オフィス**:コワーキングや自宅で執務を推奨

✓ 東京、大阪、熊本、ロンドン、シンガポール

✓ 契約コワーキングの拡張

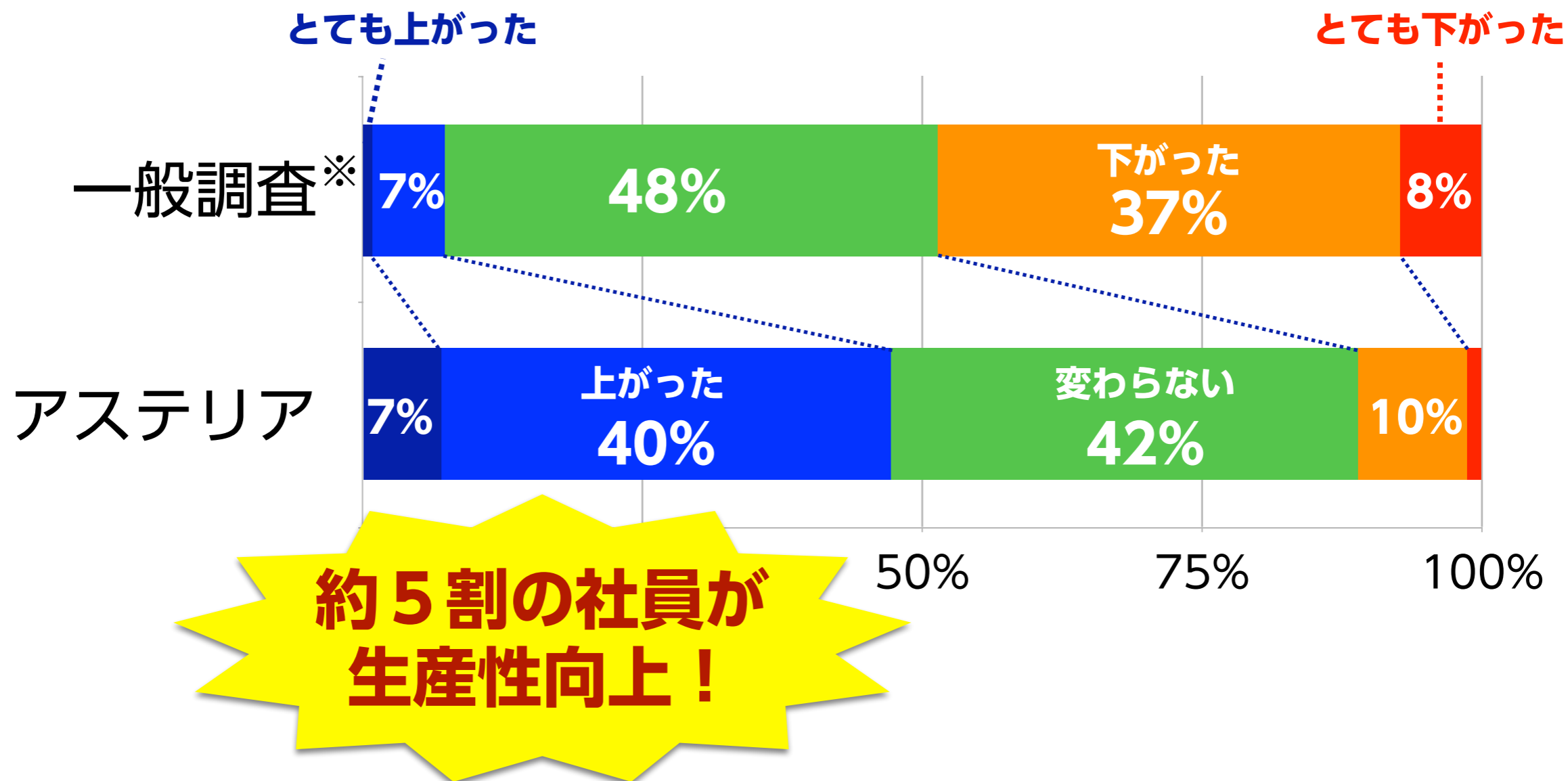
✓ オフィスの縮小も検討

約3ヶ月間
90%以上の
テレワーク実績

New
Normal

テレワークをスムーズに実施

◆ 生産性の高いテレワークを実施



※出所:Unipos社調査(2020年4月:上場企業の社員管理職886名)

New
Normal

テレワークの生産性が高い理由

迅速な
事業シフト



- ✓ セミナー/イベントのオンライン化
- ✓ 予算/計画の見直しと組み替え

できない
理由を排除



- ✓ 経営陣が率先してテレワーク実施
- ✓ ハンコをクラウド化
- ✓ 固定電話をスマホに転送
- ✓ 派遣社員もテレワーク化

テレワーク
を快適化



- ✓ テレワーク快適化補助：1万円/月
- ✓ ネット接続費用補助：5千円/月

普段からの
備え



- ✓ テレワーク環境整備済み
- ✓ アウトプット評価制度

◆ 東京一極集中の緩和

- ✓ リスク分散、生産性向上
- ✓ 働き方の多様化と優秀な人材獲得
- ✓ 地方営業拠点を増やす(名古屋を検討)
- ✓ U/J/ハターン採用

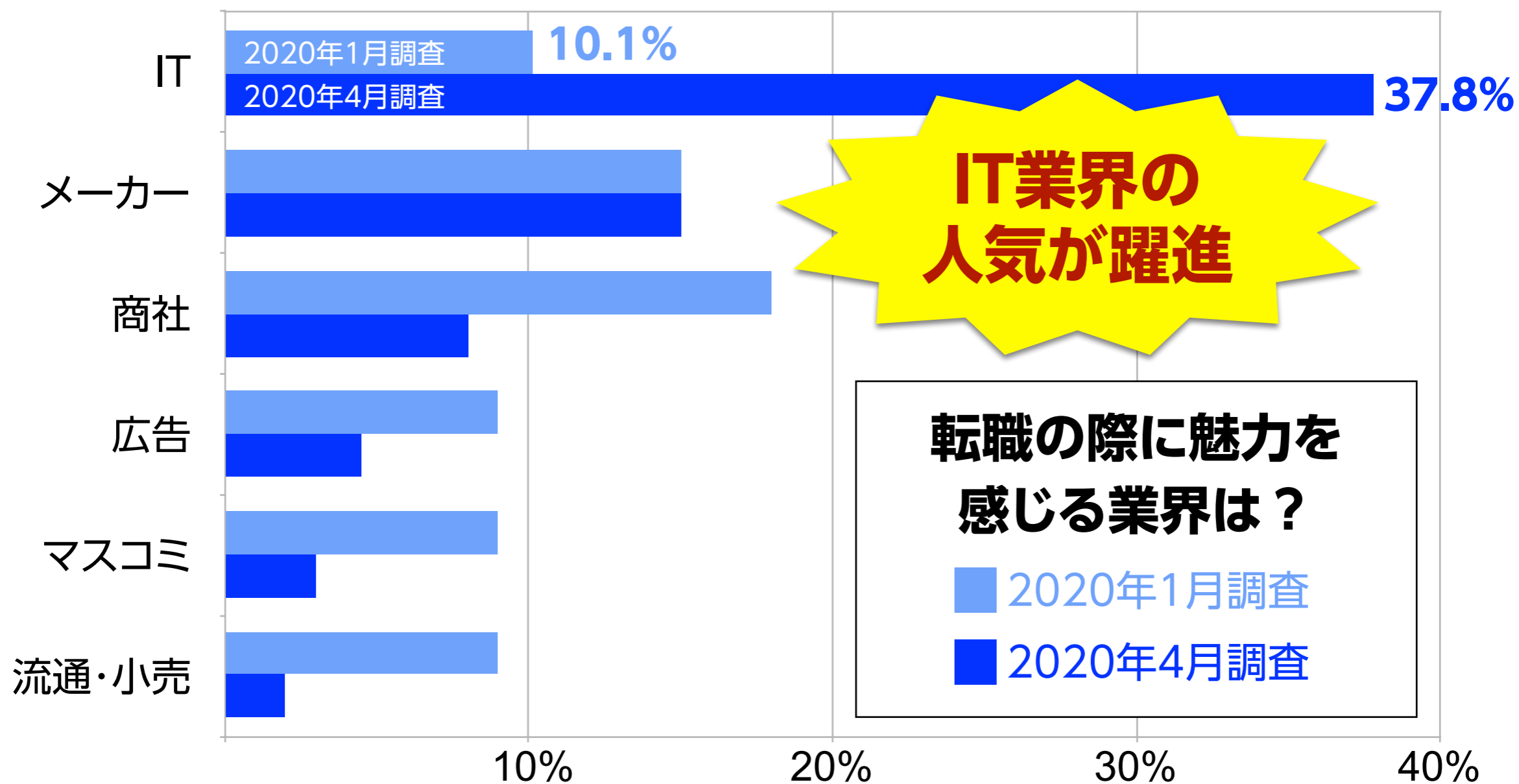


熊本R&Dセンター長
中山 芳夫

優秀 & 先進
人材採用



◆ コロナの影響でIT業界に人材が流入



出所:学情 (2020年4月調査)

成長領域の見極めと集中

IT全てが伸びるわけではない

ウィズコロナでの成長領域



Cloud

クラウド化



Automation

自動化

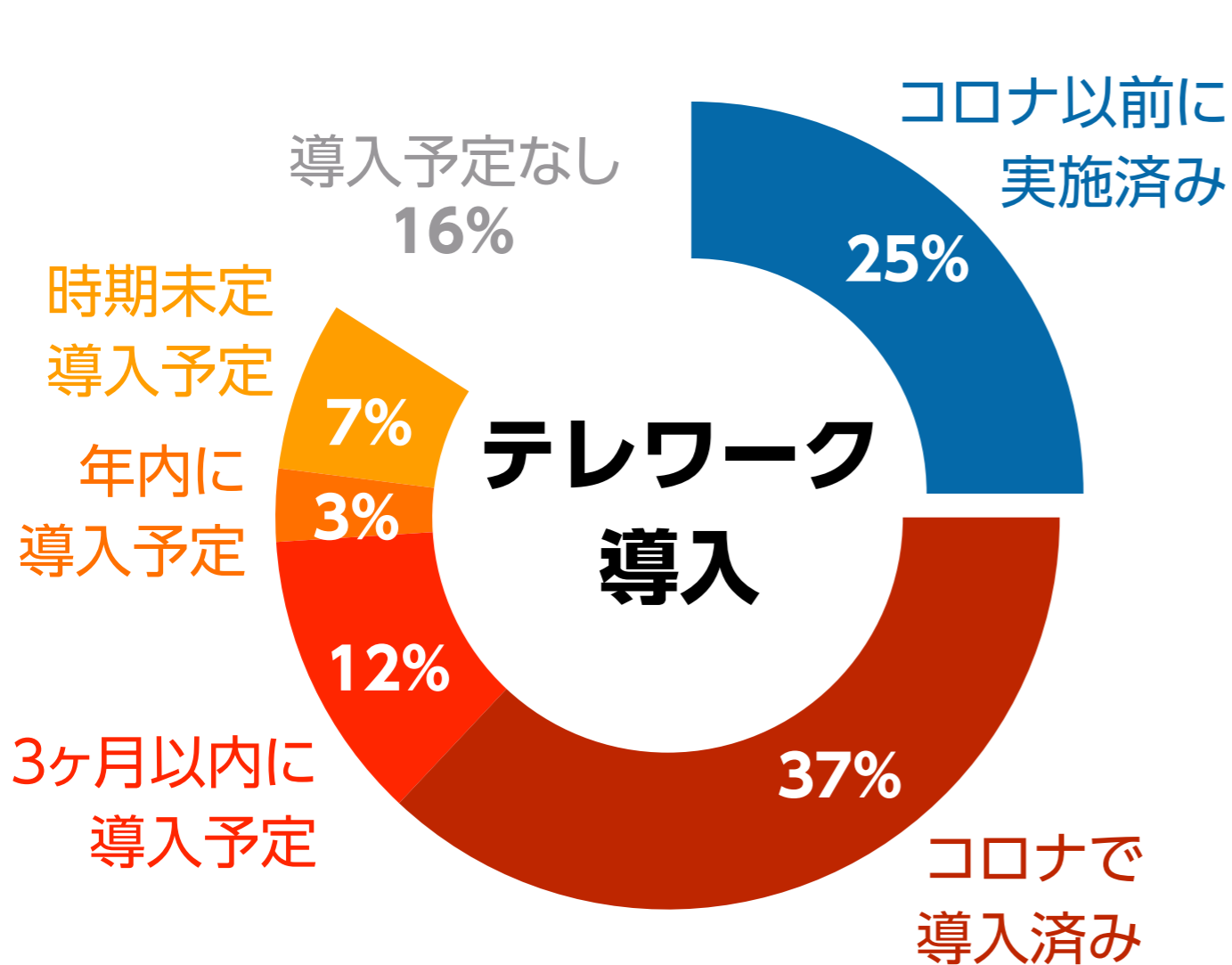
何年もかかる
はずだった
変化が加速



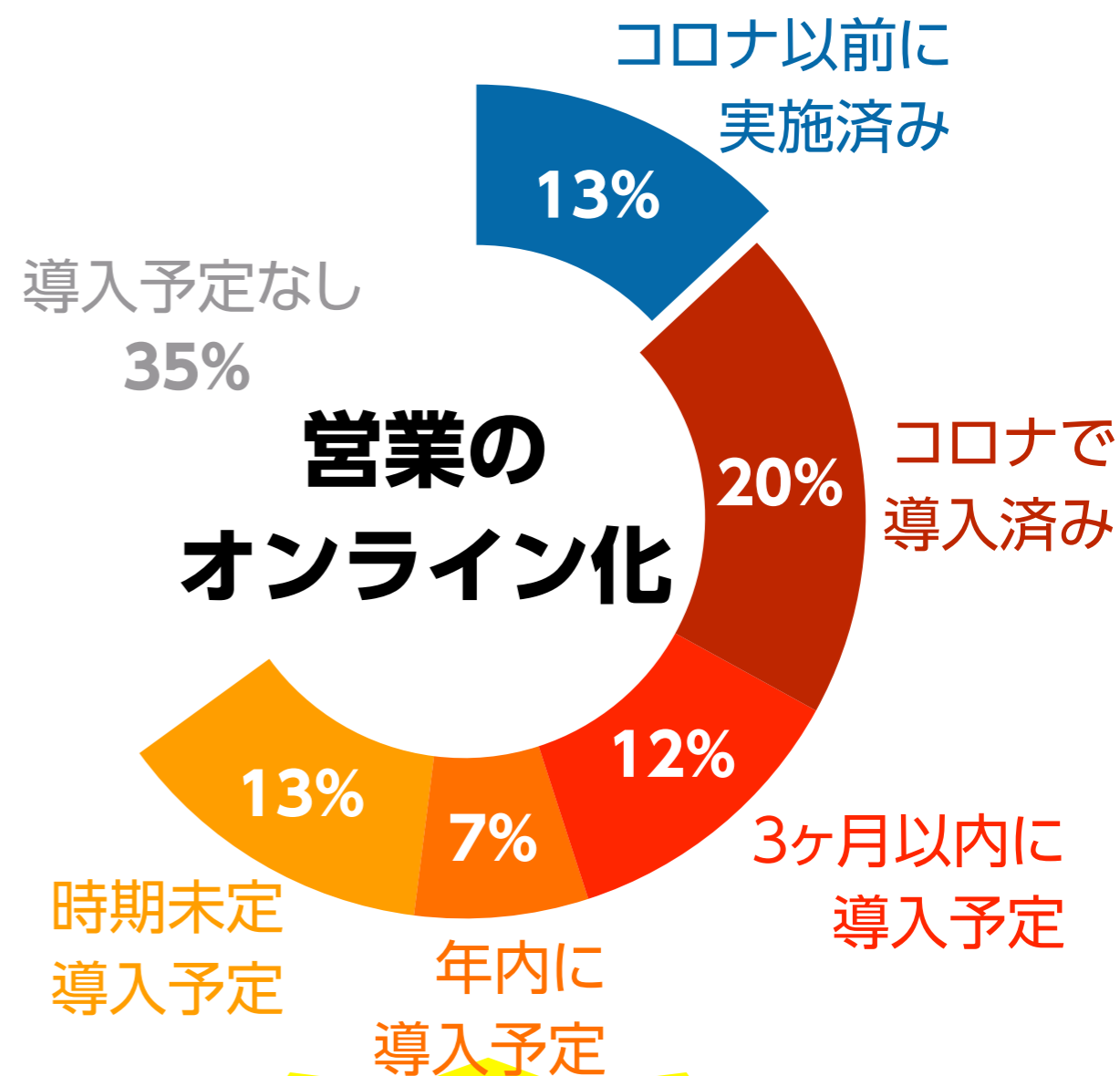
Remote

遠隔化

ウィズコロナでの成長領域



新規導入企業 59%



新規導入企業 52%

出所: ITR(2020年4月調査)

迅速な執行

スピードが成長の源泉に



「新しい生活様式」アプリ提供

- ◆ ウィズコロナで求められる「新しい生活様式」に対応した10種のアプリを提供開始
- ◆ 「勤怠連絡」「健康管理」「周知徹底確認」「働き方相談」「自撮りビデオ日報」など



「新しい生活様式」アプリ **NEW!**

- ✓ ノーコードでカスタマイズも可能
- ✓ 100種類のテンプレートから業種業態に合ったアプリを作成



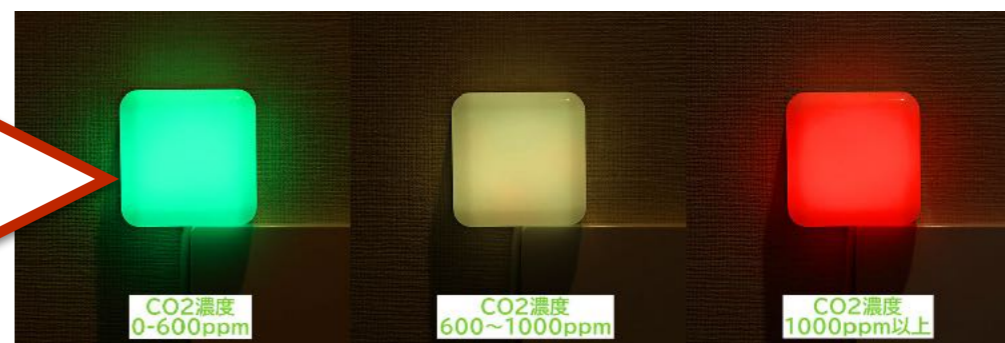
CO₂センサーで3密回避

◆ HITO病院事例

- ✓ 新製品: Gravio CO₂センサー **NEW!**
- ✓ カメラが使えない状況でも



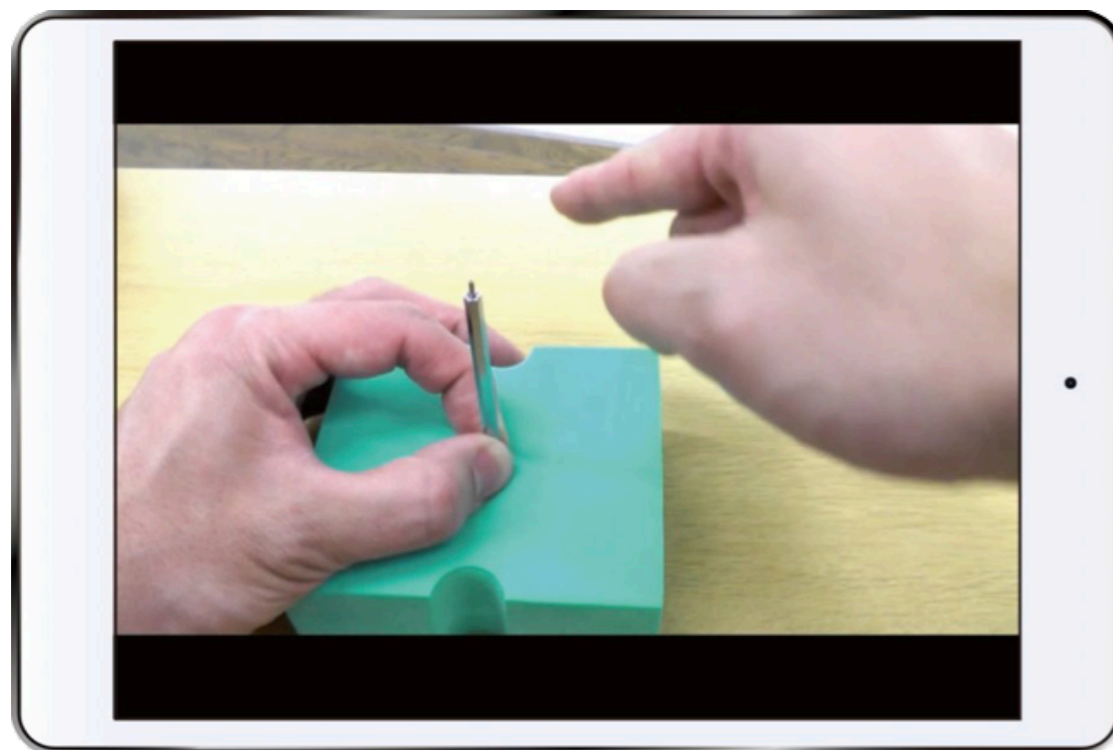
Gravio CO₂センサー



- ◆ コロナ休校時に生徒の自宅に動画(録画)を配信
 - ✓ 京都仏眼鍼灸理療専門学校(指圧師・はり師・きゅう師等を育成)
 - ✓ Handbookを活用して2週間というスピードで遠隔授業の環境を構築。
 - ✓ 授業動画を作成・配信し、全校生徒約200名が遠隔で受講。



Handbook



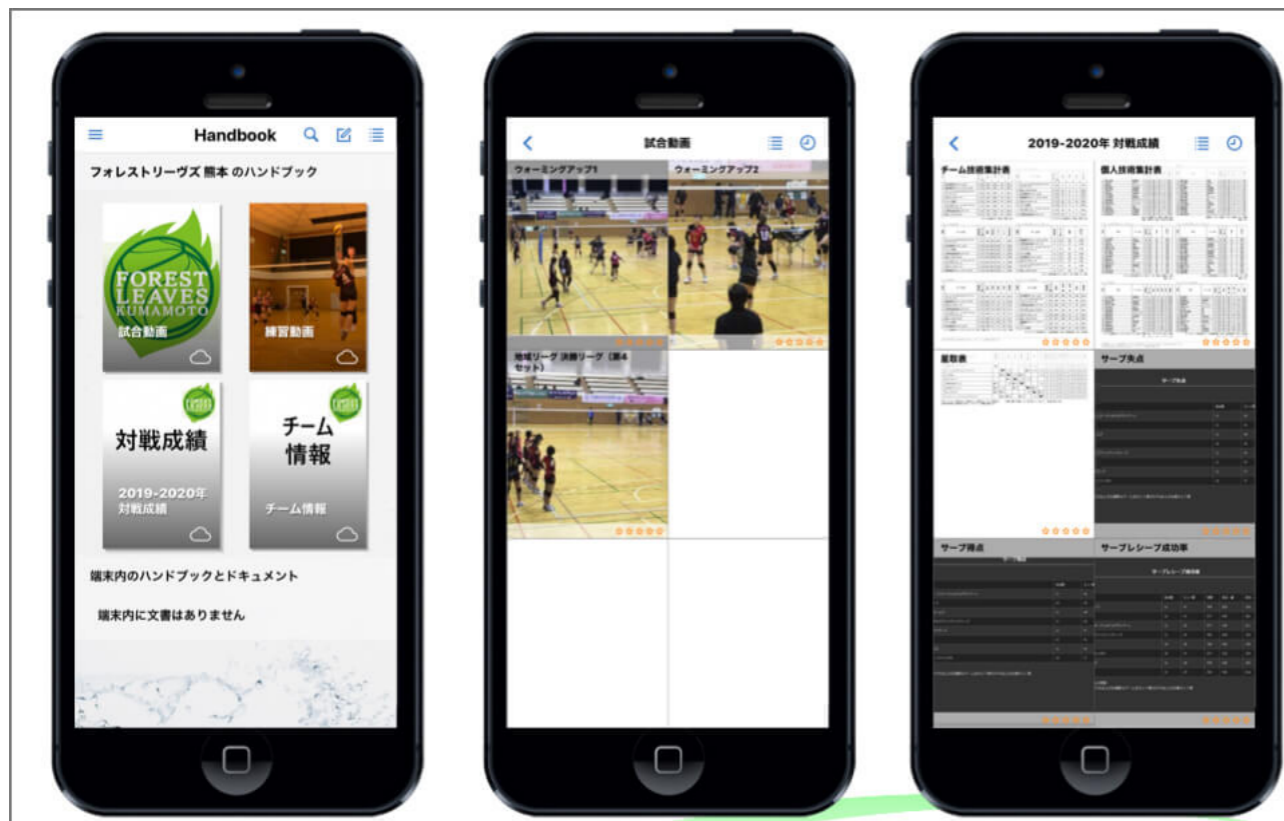


スポーツ選手のリモート合宿

- ◆ コロナ禍で練習が不可な時も Handbookを自主練習に活用
- ◆ 練習ビデオ、ライバル分析等に



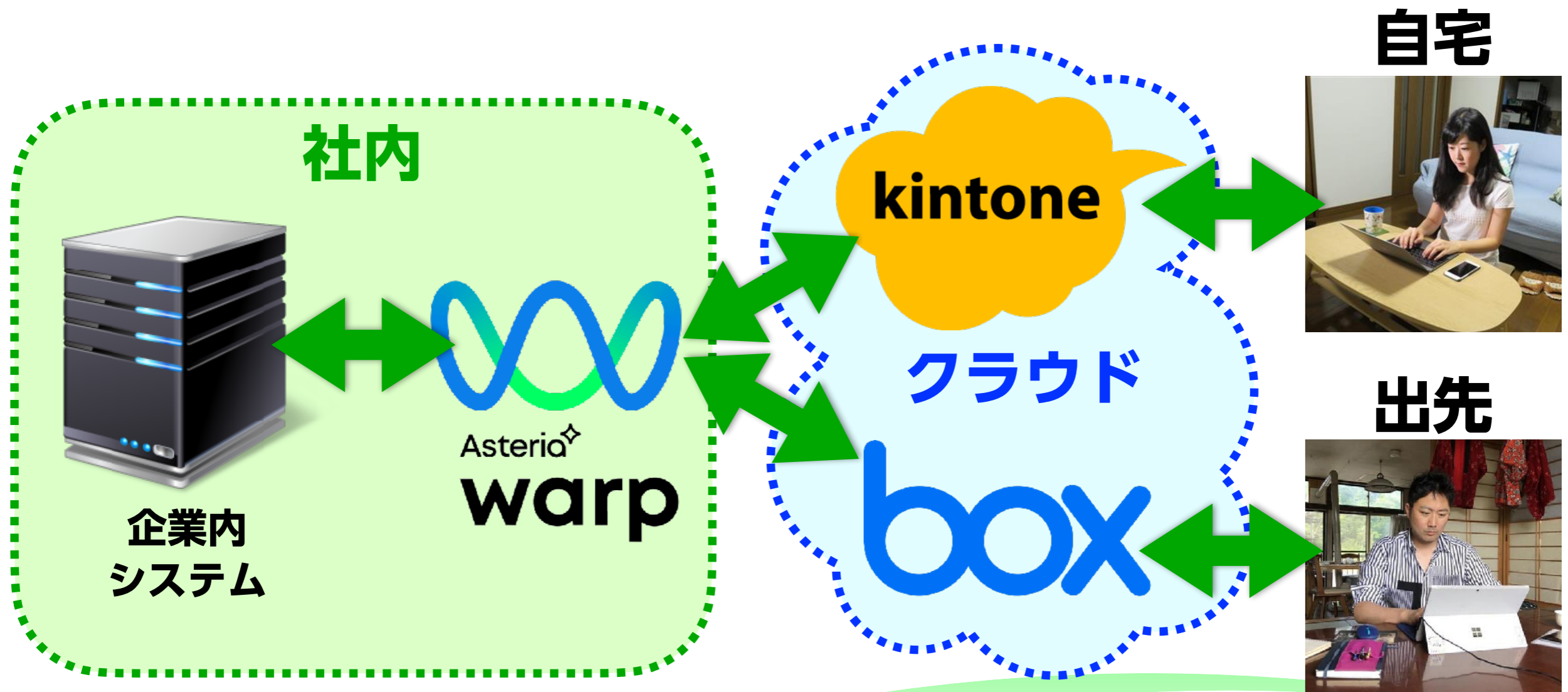
Handbook



**FOREST
LEAVES
KUMAMOTO**



- ◆ テレワークに必要な仕事上のデータをセキュリティを確保しながら自宅から安心安全に使用



会場に行かなくても株主権利を行使

- ✓ インターネットで「質問」「議決権行使」=出席が可能
- ✓ ブロックチェーンで改ざん防止、透明性を確保



まとめ

✓ **営業利益/当期利益が上場来最高**
(第1四半期)

✓ **This Place社構造改革で黒字化**

✓ **ウィズコロナに迅速に適応**



2021年3月期 第1四半期 決算説明会

お問い合わせは:03-5718-1655



本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

LINEによるIRニュース

(証券コード:3853)